

保育の心理学

平成29年度
後期 10問

問 1

次の文は、人の発達の様相についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 発達とは、遺伝要因と環境要因との相互作用によって規定される。
- B. 発達には個人差があり、また、発達の順序や経路には文化差があり得る。
- C. 発達における量的変化とは、増大や機能の向上だけでなく、衰退や機能の低下も含まれる。
- D. 発達には、ある時期を過ぎると学習が難しくなる現象がみられ、そのような時期について、人では臨界期とよばれる。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

回答

1

解説

A-○ 記述通りである。

B-○ 記述通りである。

C-○ 記述通りである。

D-× 臨界期

必要な能力を特定の時期に獲得することができないと、その能力を獲得することが生涯困難になる時期のこと

問 2

次の文は、成人期以降の発達についての記述である。（ A ）～（ D ）にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

エリクソン（Erikson, E.H.）によると、発達段階にはそれぞれ顕在化する（ A ）課題がある。成人期においても危機的状况に直面するが、否定的要素の（ B ）よりも肯定的要素の（ C ）が優位となって課題は達成される。その後、高齢期においても、否定的要素を排除するのではなく、それをも含めて（ D ）していくことによって課題が達成されるが、そこに至るには大きな困難が伴う、と考えられている。

【語群】

ア：拡散、 イ：心理生理的、 ウ：孤立性、 エ：生殖性、 オ：親密性、 カ：停滞、
キ：統合、 ク：心理社会的、 ケ：融合

（組み合わせ）	A	B	C	D
1	イ	ア	エ	ケ
2	イ	ウ	オ	キ
3	イ	エ	カ	キ
4	ク	カ	エ	キ
5	ク	キ	ア	ケ

エリクソンによると、発達段階にはそれぞれ顕在化する（心理社会的）課題がある。成人期においても危機的状况に直面するが、否定的要素の（停滞）よりも肯定的要素の（生殖性）が優位となって課題は達成される。

その後、高齢期においても、否定的要素を排除するのではなく、それをも含めて（統合）していくことによって課題が達成されるが、そこに至るには大きな困難が伴う、と考えられている。

問 3

次の文は、心の理解に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.他者の心は直接観察することはできないが、心の動きを想定する推論の枠組をもつと、他者の行動の予測ができるようになる。
- B.「心の理論」の獲得を調べるための方法としては、誤信念課題が用いられることが多い。
- C.通常5歳児では、自分自身が知っている事実と他者の知っていることとの区別は難しいが、その後、正しく推測できるようになる。
- D.乳児期での保育者とのコミュニケーションを通して、共に注意を向けることや、行為の意図を理解することなどが、心の理解の始まりとして大事な基盤といえる。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	×
5	×	×	×	×

A-○ 記述通りである。

B-○ 記述通りである。

C-× 通常5歳児は自分自身が知っていることと他者の知っていることの区別ができる。

D-○ 記述通りである。

5歳児の発達特徴は？

この時期には社会性が発達し、少しずつ他者の感情を想像できるようになってきます。

相手の気持ちを想像することによって、自分の欲求を押さえたり、感情をコントロールできるようにもなってきます。

自分より年下の子どもを可愛がったりお世話をしたりと思いやりの心が育つことで、相手のことを考えて行動できるようにもなります。

集団の中での自分の役割を認識し、責任感を持って当番活動やお手伝いを行う姿も見られるでしょう。

問 4

発達には、発達の方向を社会化と捉える考え方がある。この考え方と対照的な次の 説を提唱した人物として正しいものを一つ選びなさい。

【人間の発達では、まず初めに社会的関係があり、それが内面化し、心的機能に転化する。】

1. ハヴィガースト (Havighurst, R.J.)
2. ヴィゴツキー (Vygotsky, L.S.)
3. レヴィン (Lewin, K.)
4. ブロンフェンブレンナー (Bronfenbrenner, U.)
5. バルテス (Baltes, P.B.)

ハヴィガースト

… 人間の発達段階は6段階あり、個人が健全な発達を遂げるために各々の段階で乗り越えるべき発達課題があるとした。

ヴィゴツキー

… 社会文化的発達理論を提唱し、子どもの発達にはタイミングと教育内容が重要であるとした。心理発達には人間の社会的相互作用とコミュニケーションの影響があると考えた。

外的認知が発達するにしたがって、思考という内的認知が発達すると考えた。
発達理論において言語機能の影響を重要視している。

レヴィン

… 社会心理学の父と呼ばれ、場の理論に基づくグループ・ダイナミクスに関する研究に尽力した。

Bronfenbrenner

… ヴィゴツキーの社会文化的発達理論を一步進め、子どもの周囲にある環境を4段階に分け、発達に必要な社会の助けを4段階に分けることで子どもの周りの相互作用的な環境を整理しようとした。

バルテス

… 発達生涯にわたり獲得と損失とが結びついて起こる過程であり、発達には大きな可変性が認められることなどを主張した。

問 5

次の文は、学童期の発達に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を ×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. マーシア（Marcia, J.E.）は、学童期を心理・性的発達段階の第四段階である潜伏期としており、この時期は心理的問題がみられにくいと述べた。
- B. 学童期中期の仲間関係はチャムグループとよばれ、相互の意見の違いなどを尊重し合うのが特徴である。
- C. 一般的に、第二性徴による急激な身体の変化に伴って心理的に不安定になるが、変化が落ち着くにつれて不安定さは治まっていく。
- D. L D（学習障害）の子どもは、言葉の指示がわかりにくい、板書を写し取るのが苦手 など、学校生活で困難に直面しやすい。

（組み合わせ）	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

回答

4

解説

A-× 潜伏期はフロイトが提唱した発達段階である。

B-× チャムグループは思春期女子特有の行動であり、グループで同じ行動や発言をすることが特徴である。

C-○ 記述通りである。

D-○ 記述通りである。

マーシア

エリクソンのアイデンティティ概念を拡張して、**達成型、拡散型、早期完了型、モラトリアム型**の4つの自我同一性地位を分類、
4つの状態をアイデンティティ・ステータスと呼びました。

フロイト

潜伏期 - 5,6歳～思春期はじめ（11,12歳）

性欲動が低下しているというよりは、児童期に入って急激に知的・社会的関心が高まるため、
相対的に性的関心が低下しているという考え

チャムグループ

精神分析的対人関係論学派の**サリヴァン**が重要性を唱えた仲間関係に関する概念。
前思春期(中学生)に見られる仲間集団のことであり、特に女子にみられる。

問 6 次の【Ⅰ群】の記述と【Ⅱ群】の用語を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A.生活のさまざまな場面において、日々具体的な一連の手順を繰り返すことによって、生活習慣の基礎を身に付けていく。
- B.生後9か月前後になると、保育者の視線を追い、保育者が見ているものに目を向けることができるようになる。
- C.どのように行動したらよいか分からない場面で、保育者の表情や声の調子を手がかりにして行動する。
- D.「今ここにはないもの・こと」を思い起こすイメージをもつことにより、目の前にモデルがいなくても似た行動をしたりする。

【Ⅱ群】	(組み合わせ)	A	B	C	D
ア：共同注意	1	ア	イ	ウ	エ
	2	ア	エ	ウ	イ
イ：延滞模倣	3	イ	ア	エ	ウ
ウ：スクリプト	4	ウ	ア	イ	エ
エ：社会的参照	5	ウ	ア	エ	イ

スクリプト

生活のさまざまな場面において、日々具体的な一連の手順を繰り返すことによって、生活習慣の基礎を身に付けていく。

「経験や知識のまとまりの流れ」のことをいう

共同注意

生後9か月前後になると、保育者の視線を追い、保育者が見ているものに目を向けることができるようになる。

赤ちゃんが相手と同じものに注意を向けて、「相手の行動の意図を共有する」「自分の行動の意図を共有してもらう」などの調整を行う行動のことをいいます。

社会的参照

どのように行動したらよいか分からない場面で、保育者の表情や声の調子を手がかり にして行動する。

問題を解決する場面や行動を選択する場面において、自分だけでは意志決定や行動選択がしにくい時、周りの人の表情や態度、反応をみて行動を決定するような現象のことである。生後9ヶ月頃から見られるようになる。

延滞模倣

「今ここにはないもの・こと」を思い起こすイメージをもつことにより、目の前にモデルがいなくても似た行動をしたりする。

観察した他者の行動を、時間をおいてから再現すること。ごっこ遊び（おままごと）も、延滞模倣（遅延模倣）の一種である。

問 7

次の文は、トマス（Thomas, A.）とチェス（Chess, S.）の気質（temperament）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 気質（temperament）の特性を、活動水準、体内リズムの周期性、順応性、気分等の 9 つに分類した。
- B. 「扱いにくい子（difficult child）」は、生活リズムが不規則で環境への適応が難しいとされているが、母親はその子育てを負担に感じることはない、としている。
- C. 気質的特性に基づいて子どもは活動を選択し、自分の生活環境を形成する、と考えている。
- D. 「出だしの遅い子（slow-to-warm-up child）」は、新しい状況や人に対して回避的に反応し、慣れるのも遅く、機嫌が悪いことが多い、としている。

（組み合わせ）	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

A-○ 記述通りである。

B-× 「扱いにくい子」は、生活リズムが不規則で新しいことや慣れないことに対して回避的、順応が遅く、不機嫌なことが多いとされている。扱いにくい子であることから、子育てを負担と覚じることが多い。

C-○ 記述通りである。

D-× 「出だしの遅い子」は、生活リズムは規則的であるが新しい環境に適応するのに時間がかかる、としている。

問 8

次の（ ）にあてはまる用語として最も適切なものを一つ選びなさい。

集団の中に入りたいという思いは、幼児期の子どもたちにとってごく自然なことである。幼児期にみられる欲求を分類すると、愛情をもって養育されたいという生理的欲求、安全の欲求、そして、それらが満たされた子どもは集団に所属したいという所属の欲求、さらに、認められたいという承認の欲求を抱きつつ、幼児期にふさわしい（ ）へと動機づけられる。すなわち（ ）は、集団の中で自発的な遊びや学びを通して個性を発揮しようとするものである。

1. コンピテンス
2. 自己決定
3. エンパワメント
4. 自己実現
5. セルフ・モニタリング

コンピテンス

… 自分が周りの環境に何らかの働きかけをして、そこからある満足のいく変化をもたらすことができた喜びのこと。

自己決定

… 自分の意思で選択し、決めること。

エンパワメント

… 個人の持つ能力を尊重し、すべての人が潜在的に持つパワーを再び取り戻す援助をすること。

自己実現

… 個人の中に存在するあらゆる可能性を自律的に実現し、本来の自分自身に向かうこと。

セルフ・モニタリング

… 自分の行動や考え、感情を自分で観察記録すること。

問 9 次の文のうち、「保育所保育指針」第3章「保育の内容」の2「保育の実施上の配慮事項」の一部として正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.一人一人の子どもの生育歴の違いに留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育士が応答的に関わるように努めること。
- B.食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなど、生活に必要な基本的な習慣については、一人一人の状態に応じ、落ち着いた雰囲気の中で行うようにし、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重すること。
- C.子どもが自ら周囲に働きかけ、自分の力で行う活動を積極的に促す援助をすること。
- D.子どもの心身の発達及び活動の実態などの個人差を踏まえるとともに、一人一人の子どもの気持ちを受け止め、援助すること。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	○
4	○	×	○	○
5	×	○	○	○

A-○ 記述通りである。

B-○ 記述通りである。

C-× 「保育所保育指針」第3章2の（一）保育に関わる全般的な配慮事項より、
正しくは「子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で行う活動を見守りながら、適切に援助すること。」である。

D-○ 記述通りである。

「保育所保育指針」第3章2

保育の実施上の配慮事項

（1）保育に関わる全般的な配慮事項

（ウ）子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で行う活動を見守りながら、
適切に援助すること

次のA～Eは、子どもの運動遊びに関する記述である。A～Eの記述を【語群】 の用語と結びつけた場合の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

A.ボールを投げる

B.鬼ごっこで走って逃げる

C.平均台の上を歩いて渡る

D.マットの上で前転する

E.なわとびで二重跳びをする

【語群】 ア：平衡系動作、 イ：移動系動作、 ウ：操作系動作

(組み合わせ)	A	B	C	D	E
1	ア	ア	ア	イ	ウ
2	ア	イ	ウ	ウ	イ
3	ウ	ア	ウ	ウ	ア
4	ウ	イ	ア	ア	ウ
5	ウ	イ	ウ	イ	ウ

回答

4

解説

平衡系動作 …… 身体のバランスを取る動作のこと。

移動系動作 …… 身体を移動する動作のこと。

操作系動作 …… 人やものを操作する動作のこと。

ボールを投げる
なわとびで二重跳びをする

} **操作系動作**

鬼ごっこで走って逃げる ⇒ **移動系動作**

平均台の上を歩いて渡る
マットの上で前転する

} **平衡系動作**